

京都市における交通政策に関する京都市長選立候補者への質問

2020年1月11日 NPO法人 KOALA（都市交通創生ネットワーク@関西）

NPO法人KOALAは人と環境にやさしい交通まちづくりを掲げて活動している市民団体です。2007年の設立（NPO法人化は2013年）、講座や研究会活動等を通じて、21世紀の交通を自立的に実現するための知識・人的ネットワークの形成を図り、既存の交通システム・ネットワークの再構築、活性化策、LRTなどの次世代交通システムの導入の検討、提言等を行い、関西地域の魅力的なまちづくりに寄与できる活動を続けてきました。

京都市長選に向けて、立候補者が目指す京都市における交通政策に関するご意見（マニフェスト）をうかがい、市民にわかりやすく比較したうえで、広く周知することで、京都市における交通課題の改善に寄与したいと考え、アンケートをお願いする所存です。ご回答いただいたご意見はそのまま当会HPに掲載したうえで、回答の比較表をまとめたうえで、市民への周知活動に活かしたいと考えております。選挙戦のさなかでお忙しい中恐縮ではございますが、その趣旨をご理解いただき、ご回答いただけると幸いです。なお、1月26日までにご回答いただけない場合は回答なしとして掲載のうえ、比較表にはマニフェストに公表されている項目を当会でまとめたうえで、HPに掲載させていただきます。ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

【設問】 次の各設問から1つ（複数回答可の場合は明記）お選びください。

ただし、検討のみでなく、実現させるといふもののみお選びください。

選択した際の条件、理由、補足事項、その他の具体的な施策等がありましたら、追記ください。

1. 市営地下鉄・市バスについて

(1) 今後の運営の形態は？ A. 市営 B. 一部民間委託（現状維持） C. 完全民営化

D. 上下分離：施設（駅、線路、車両、車庫など）を市が保有、運営は民間 E. その他

回答 < > ご意見（)

(2) 地下鉄建設の累積赤字に対する方策は？ A. 営業収益で返済 B. 民間への売却益で返済

C. 交通税（環境税・宿泊税等を含む）を新設して返済 D. その他

回答 < > ご意見（)

(3) 地下鉄の路線延伸は？（複数回答可） A. 延伸はしない B. 烏丸線北方向 C. 烏丸線南方向

D. 東西線醍醐から先 E. 東西線太秦天神川から先 F. 新路線建設 G. その他

回答 < > ご意見（)

(4) 地下鉄の改善策は？（複数回答可） A. 営業時間の拡大 B. 運行本数を増やす C. 新車の投入

D. 運賃を下げる E. 企画切符の拡充 F. グッズの販促 G. 広告収入を増やす

H. モビリティマネジメントの実施 I. イベント等でPR J. 駅付近に公共施設等を誘致 K. その他

回答 < > ご意見（)

(5) 市バスの改善策は？（複数回答可） A. 営業時間の拡大 B. 運行本数を増やす C. 接続バスの投入

D. 運賃を下げる E. 企画切符の拡充 F. グッズの販促 G. 広告収入を増やす

H. モビリティマネジメントの実施 I. イベント等でPR J. バス停付近に公共施設等を誘致

K. 路線をわかりやすく基幹路線と支線に再編 L. バス停の待合環境を整備

M. ロケーションシステムの拡充 N. バスマップ等の案内を拡充 O. その他

回答 < > ご意見（)

2. 新交通システムについて

- (1) 導入すべきと考える新交通システムは？（複数回答可） A. ライトレール（LRT：次世代路面電車）
B. 高度化バスシステム（BRT：専用線走行バス） C. 自動運転隊列バス（IMTS）
D. 不要 E. その他

回答 < >
ご意見（ ）

- (2) 新交通システムのネットワークとしてふさわしいのは？（複数回答可）

- A. 地下鉄を補完する支線の役割 B. バスに代わる基幹交通 C. 郊外路線の拡充 D. 観光路線への導入
E. その他 <重点的に導入する地域や路線があれば、ご意見欄にご記入ください>

回答 < >
ご意見（ ）

3. 観光の交通問題についての必要な施策は？（複数回答可） A. 市主導で多言語化案内を充実

- B. 観光客の流入・入場規制 C. マイカー・観光バスの規制 D. 荷物スペース付きバスを増やす
E. 観光路線の前乗り前払い化 F. 新交通システムを導入して対応 G. 混雑状況を案内して分散化
H. その他

回答 < >
ご意見（ ）

4. 自動車交通の規制についての必要な施策は？（複数回答可） A. ロードプライシング

- B. トランジットモール C. ゾーン20 D. 大路の一方通行化 E. 中心部や観光地の歩道拡幅
F. 中心部や観光地の歩行者天国化 G. トラフィックセル（住民以外の通り抜け禁止）
H. 自動車の規制は必要ない I. その他

回答 < >
ご意見（ ）

5. その他、必要な交通施策は？（複数回答可） A. 自転車専用レーンの整備 B. 自転車駐輪場の整備

- C. コミュニティサイクルの整備 D. 自転車マナーの啓発 E. バイパスの整備 F. 高速道路の整備
G. 駐車場の整備 H. 中心部の駐車場建設規制 I. 駐車場の料金管理 J. パークアンドライド整備
K. 市財政でバリアフリー化推進 L. バリアフリー化は事業者にかかせる
M. 京都駅のタクシー乗入れ規制 N. 市財政で自動車免許返納者への特典付与
O. 市財政で地下鉄・市バス高齢者割引実施 P. 市財政で公共交通不便地域へのバス導入支援実施
Q. 市財政で民間交通事業者へサービス向上施設の導入支援 R. 市財政で運輸連合構築
S. ラストワンマイル交通の整備 T. 公共交通間の乗継利便性向上 U. その他

回答 < >
ご意見（ ）

6. 交通まちづくりについての方針は？ A. 市が主導すべき B. 事業者にかかせる

- C. 市民も委員に加えて官民協働の協議会で進めるべき D. その他

回答 < > ご意見（ ）

ご協力ありがとうございました。